

新型コロナウイルス感染症に係る「緊急事態宣言」の発令を受け、3月4日(木)から延期となりました。

自分たちに合った広報ツールを探そう!

～情報発信のセルフチェック～

●2021年 3月13日(土)

9:30～11:30 (9:15より受付開始)

●メイン会場：岡崎市図書館交流プラザ 会議室301
(サテライト会場は、各地域交流センター)

●対象：まちづくりや市民活動に係わる団体・個人・事業者の方

●申込・問合せ：りぶら市民活動センター・各地域交流センターの窓口または電話、FAXにて
TEL 0564-23-3114 FAX 0564-23-3142

参加費：無料

定員：40名程度
(要事前申込)



市民活動を発展させるには広報を効果的に行う必要がありますが、広報ツールには、情報誌やチラシ、SNSなど多種多様な媒体があります。そのため「どの広報ツールがいいの?」「色々な広報ツールの更新が大変」「効果が感じられない」…こうしたことに困っていませんか?この講座では、広報活動をセルフチェックした上で各種ツールの強みや弱みを理解し、自分達にあったツールを探ります。

※当日はメイン会場とサテライト会場をオンラインでつないで開催します。どの会場にお申し込みいただいても構いませんが、申込人数に応じて会場を調整させていただく場合があります。

-女性活躍推進の取り組み-

りたはこれまでも「男女ともに活躍できる職場環境」を整えてきましたが、このたび「女性の活躍推進」に関する以下の取組を新たに実施し、さらに一人一人が活躍出来る職場づくりを行っていきます。

女性活躍推進宣言

- 地域支援に女性の視点を活かします。
- 研修やOJTの充実により、女性職員のエンパワーメントを図ります。
- 働き方改革を推進し、時間外勤務の削減やテレワーク導入による事務の効率化に一層努め、ワークライフバランスを推進します。

一般事業主行動計画

男女ともに全社員がその能力を発揮し、仕事と家庭の両立ができる雇用環境を整備するため、一般事業主行動計画を策定しました。

▶次世代育成支援法に係る一般事業主行動計画、女性活躍推進法に係る一般事業主行動計画は、下記のURLよりご覧いただけます。

<https://www.okazaki-lita.com/about>



▲岡崎市地域交流センター・市民活動センターでは、4名の女性センター長が、スタッフの中心となって各館の運営を担っています。(2021年2月現在)

お問合せ	よりなん	59-3600	むらさきかん	66-3066	市民活動センター	23-3114
なごみん	やはぎかん	33-3665	悠紀の里	57-5050	まち育て推進チーム	23-2888

まちのミカタ

Litaracy

2021.03 vol.108

発行・編集



特定非営利活動法人 岡崎まち育てセンター・Lita

〒444-0031 愛知県岡崎市梅園町3丁目6-6
TEL(0564)23-2888/FAX(0564)23-2898
<http://www.okazaki-lita.com/>
<https://www.facebook.com/okazaki.lita/>

配布

岡崎市図書館交流プラザ・Libra/岡崎市内の地域交流センター
会員宛へ郵送 等 ※会員登録をご希望の方は左記までご連絡ください。

配布協力

岡崎市役所各支所/岡崎市各市民センター/シビックセンター/
FMおかざき/杉くんの駄菓子屋/angelshare/松應寺/cafeくらがり/

まちのミカタ

Litaracy ーりたらしいー

108

2021年3月



特集

7町・広域連合が今、アツい! 古き良きコミュニティ活動を新しい形で創り出す

今、籠田公園周辺の町内会が協働して「籠田公園周辺7町・広域連合(以下、7町連合)」を立ち上げ、各種コミュニティ活動を展開しています。7町連合が生まれるきっかけは籠田公園と中央緑道の再整備でした。「新しい籠田公園と関わるワークショップ(りたが企画運営、2018年)」や「中央緑道検討会議(2016年)」には、公園と緑道に隣接する町内(合計7町内会)の方々に参加が呼びかけられました。ワークショップに参加された地域役員の方から「籠田公園が新しくなるのであれば、久しぶりに盆踊りをやりたい」という思いが語られ、これに賛同する籠田公園周辺の3町内が動き出し、さらに中央緑道

に隣接する町内会にも共感の輪が広がったことで、2019年夏には7つの町内会が協働して盆踊りを復活させました。このつながりが更に輪を広げ、今や学区の枠を超えた20程度の町内会がつながる広域連合へと発展しています。

7町連合の誕生により、①1つの町内会ではできない大がかりな取組ができるようになった、②市民活動団体や企業および行政など外部組織の巻き込みが行いやすくなった、③住民の中から「こんなことがやりたい!(自治会マルシェなど)」というチャレンジする機運が生まれた、といった変化が生まれています。本稿では、こうした活動の背景を紹介します。

7町連合とりた

●2018年:新しい籠田公園に関わるワークショップの開催

籠田公園近隣の町内会役員や公園の美化活動に参加しているボランティア、近隣の商店街関係者等にお声掛けをしてワークショップを開催。公園活用事例に関する勉強会(東京・南池袋公園や岡崎・春咲3公園の事例)を開催した他、前年に籠田町・亀井町・伝馬1丁目にて実施した「全住民アンケート」の結果分析について外部アドバイザー(宮崎氏/カンントリーラボ)からのアドバイスも受けました。公園活用のイメージを高め、活動を立ち上げる1年でした。

●2019年:籠田公園協議会準備会の開催

籠田公園は、近隣住民にとどまらず、地域外からイベントが持ち込まれ、キッチンカーによる営業行為が推奨されるなど、従来にない公園活用が想定されています。そこで、地域住民や事業者、行政が公園のあり方やルールを話し合う「協議会」が必要となったため、その枠組みを計画するワークショップを開催。特に「公園で行われるイベント等の情報を事前に地域に共有してほしい」というニーズが顕在化し、この情報集約と発信を7町連合が担うことになりました。

●2020年:籠田公園周辺3町内検討会議の開催

籠田公園の活用が軌道に乗ってきた一方で、過去に実施した「全住民アンケート」で取り上げられた地域課題の解決が十分に進んでいない状況を踏まえ、地域役員からの発意で「籠田公園周辺3町役員検討会」が発足。課題解決に向けた活動の計画づくりが始まりました。地域課題(防犯、防災、福祉など)の解決の推進主体として7町連合への期待が高まったため、3回の検討会を経て現在では、りたは7町連合の事務局の活動支援に注力しています。

【表:籠田公園周辺地区をめぐる過去3年の取り組み】

年	岡崎まち育てセンター・りた	籠田公園周辺7町・広域連合
2018	<ul style="list-style-type: none"> ◆新しい籠田公園に関わるワークショップ開催(全3回) <ul style="list-style-type: none"> ①南池袋公園と春咲公園の事例紹介。方向性の確認 ②宮崎さん講演(アンケート/国内の事例)。未来アクション(催し、事業者連携、コーディネート)の検討 ③「A.定期的な活用」「B.町内連合イベント」「C.自主企画イベント」の検討 ◆先行事例調査を実施:錦2丁目ツアー 	<ul style="list-style-type: none"> ◆3町内で「盆踊り」を検討
2019	<ul style="list-style-type: none"> ◆籠田公園協議会準備会の開催(全3回) <ul style="list-style-type: none"> ①籠田公園設計者(オンサイト)からの説明、公園のモニタリング活動の検討 ②社会実験前期報告(常設の飲食系事業者の誘致)/公園のルール(火、音、たばこ、PR)の検討 ③社会実験報告/協議会の構成員や役割、活用のルール検討/とよしば調査報告 ◆籠田公園紹介パンフレットの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ◆7町・広域連合の発足(籠田公園活用に関する情報共有の受け皿) ◆7町連合が盆踊りを開催 ◆7町・広域連合定例会議の実施
2020	<ul style="list-style-type: none"> ◆籠田公園周辺3町役員検討会の開催(全3回) <ul style="list-style-type: none"> ①全住民アンケートの振り返り。地域課題(防犯、防災、福祉など)の確認 ②課題の可視化、活動の担い手検討(防災、新規住民との交流、受け入れ活動) ③防災キャンプ報告、今後の活動検討(見回り活動、地域住民との交流) ※2021年3月:「籠田公園協議会」発足予定 	<ul style="list-style-type: none"> ◆防災キャンプの開催 ◆籠多市場の開催(新型コロナの影響で中止。2021年度開催予定)

7町・広域連合会議のご紹介

7町連合では毎月1回定例会議を開催しています。参加者PRタイムや各実行委員会の報告・提案等を実施。毎回50名程度が集まる熱気あふれる場です。ここに参加すると籠田公園周辺のすべての情報が手に入ります!どなたでも参加できますので、お気軽にご参加ください。【日時:毎月第3土曜日/18時~ 場所:市民会館】



籠田公園周辺

コミュニティ活動の紹介



日常の風景



▲もちつき(冬)



▼夏祭り(盆踊り)



▲防災キャンプ(秋)

これまでのまちづくりは、「誰かがやってくれる」といった「他人事」な一面や、安易に「成長」を促すことで地域の課題を解決するといった手法が多く取られがちでした。そのため、地域住民がまちづくりに関わる機会が少ないことも多々ありました。

しかし7町連合は、真摯に地域の課題(弱かった部分)に向き合うことで人々の共感や参加を創り、つながりを生み出しています。この姿こそ本物の「ヒト」の力であり、「マチ」の力です。



株式会社カンントリー・ラボ 代表取締役 宮崎道名氏 (外部アドバイザー)より

籠田公園から中央緑道、そして康生地区から東岡崎地区を結ぶ桜城橋は一体的な動線として整備が進められています。令和元年7月に籠田公園、令和2年3月には桜城橋、そして中央緑道が今年3月にはリニューアルオープンを迎えようとしています。

先におオープンした籠田公園や桜城橋では、従来より利用者の年齢構成が変わり若い世代層や活用の多様化、そして賑わいや長時間の滞在が見られているように思います。

また、この周辺の地域では、大きく生活環境が変わる動向をチャンスと捉え、学区を超えた隣接自治会が主体となって、心地良く顔

が見える地域環境づくりのため、地域の資産や資源を有効に活用し、共有できる仕組みづくりとして「籠田公園周辺7町・広域連合」を立ち上げました。皆さんの協力・参加と連携をお願いします。

籠田公園周辺3町役員検討会に参加した 安藤耕一氏(籠田町総代)より



7町連合の今後に向けて

このように7町連合は、地域が主体となり、事業者やボランティア、行政を巻き込んだ活動を展開しており、岡崎市を代表する地域活動の一つです。しかし、7町連合の事務局を担っている2、3人の有志に負担が集中しているという実態があります。りたとしては、この活動が持続、発展していくためにも広報媒体(パンフレットや情報誌、HP、SNSなど)のさらなる充実や、事務局体制の強化(担い手の掘り起こしを含む)が必要と考えており、引き続き協働作業を続けていく予定です。